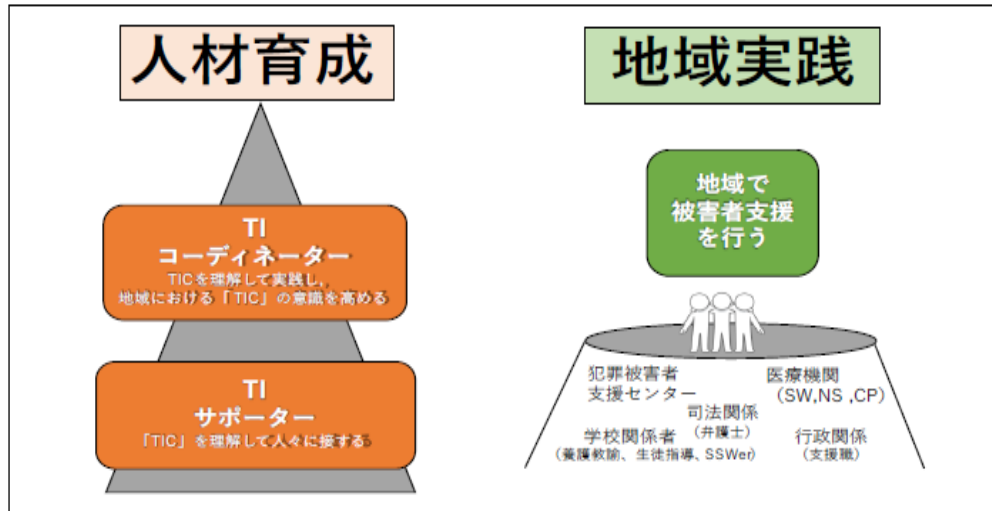
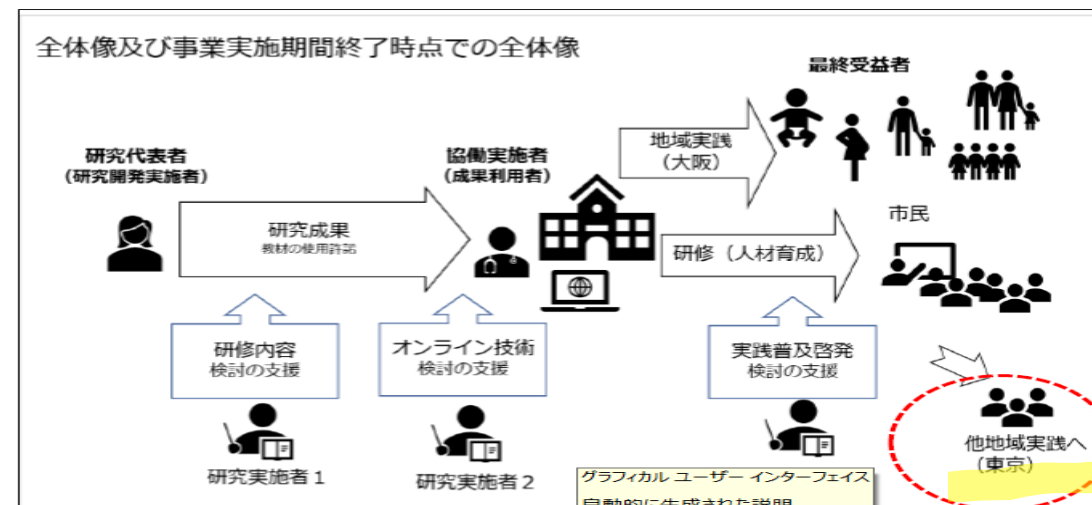


# 東京ブランチ報告(2023.11.8)



先ず集まってみよう!

研修受講者の多かった東京で  
どんな活動ができそうか検討するた  
めに集まりを設定する

## 研修受講者の多かった東京地域で集いを開催

1回目 3月7日 顔合わせ 自己紹介（本部からも毎原代表、大岡先生がZOOM参加）  
「東京都犯罪被害者支援コーディネーターの活動紹介」と意見交換

確認したこと……大阪の地域実践のような活動基盤の構築は東京の現段階では困難（関係機関、財源、人材）  
当面は勉強会の形での集まりを継続とする

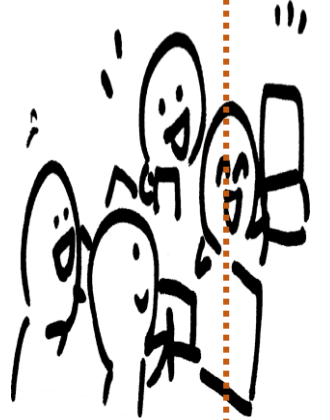
2回目 5月9日 「被害者支援都民センターの活動紹介」と意見交換  
3回目 6月30日 「中野区の被害者支援担当窓口の活動紹介」と意見交換  
4回目 9月12日 「潜在化している障害者の被害」について意見交換  
5回目 11月14日 「被害者支援、加害者支援へのかかわりから」と意見交換（予定）

※現在、連絡先登録14名



## TICC東京ブランチを開催して

- 対面での話題や知見の共有と意見交換の意義を改めて確認
  - ➡ 研修講義という知識修得型ではなく、参加者の思いや意見交換ができることの意義
- 対面参加が難しい方にはZOOM参加をいただいてハイブリッド開催
- 会場は大学の協力で無料
- 話題提供はゲスト招聘や参加者の中から（各位の活動経験とフィールドの豊かさ）
- 日程調整の課題で全員の参加日設定は困難
- TICCの観点で集う場や機会があることの意義
  - ➡ 参加者のエンパワメント、吐き出しの場
  - ➡ 情報提供や取得の機会
  - ➡ 細々とでも継続することの意義と課題



各ブロックもしくは地域にブランチがあるとよい？